

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2014 No.32

inaokigakuen news letter



巻頭

新年度 ごあいさつ

特集1

星稜高等学校サッカー部

全国高校サッカー選手権大会 準優勝!

特集2

日本海イノベーション会議 金沢星稜大学プログラム

講演会「グローバル化と大学教育」開催

世界で通用するグローバルな人材を 金沢星稜大学が生み出すために

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryō ～星稜の友～

星稜 Information

学園各設置校で卒業式・卒園式
星稜の教えを胸に、
旅立ちの時!

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくはP14をご覧ください

平成26年度 新年度ごあいさつ



爽やかな春風の訪れとともに、この4月より大学、短期大学部、高校、中学校、両幼稚園にて新しい生活を始められる皆さまを心より歓迎いたします。

新しい生活を始める皆さまにとって、稲置学園各設置校での環境が充実したスタートとなるよう教職員一同とともに応援させていただきます。

昨年度は、稲置学園にとって、特にスポーツ関連での活躍が著しい年でした。

星稜高校サッカー部は第92回全国高校サッカー選手権にて準優勝という快挙を成し遂げ、大学のサッカー部からは大学初となるJリーグ選手の誕生、スポーツ学科からも石川県中高保健体育教員の現役合格者を輩出することができました。

このように、生徒・学生がスポーツや勉学に励み、素晴らしい結果を残せたことはもとより、活躍できる環境を支えてくれている保護者の皆さまにも心から感謝を申し上げます。

今年度も稲置学園で学ぶ皆さまが、有意義な生活と更なる飛躍ができるよう、建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」のもと、より充実した教育環境の整備と発展に努めてまいります。

学校法人稲置学園理事長 稲置 美弥子



特集1 星稜高等学校サッカー部 全国高校サッカー 選手権大会 準優勝!

1月13日(月・祝)、全国高校サッカー選手権大会の決勝戦が行われました。初の決勝進出となった星稜高校サッカー部は同じく初優勝を目指す富山第二高校と対決、北陸勢同士の決勝に熱い注目が集まる中、白熱の試合を展開しました。結果は延長戦の末の惜敗となりましたが、初の全国準優勝という輝かしい成果を残しました。今回は、大会を終えたサッカー部河崎護監督と、前主将の寺村介さん(3年)、新主将の鈴木大誠さん(2年)にお話をうかがいました。

選手、スタッフの闘いぶりは
 僕の大きな誇りです。

星稜高校サッカー部 河崎 護 監督



たのかな、またサッカーファンのこども達にも夢を与えることができたのかなと感じるようになりました。
 120名の部員、スタッフの頑張りは私にとって大きな誇りです。特に25名の選手とは事前キャンプから合わせて約3週間を一緒に過ごしたのですが、一試合一試合を勝ち抜くたびに彼らが成長し、チームの絆が深まっていくのを間近で感じていました。準優勝という素晴らしい結果に彼らは大きな自信を得たでしょうし、この経験を今後の人生に生かしていつてくれると思います。

準優勝という結果を、
 次の人生に生かしてほしい。

おかげさまで全国準優勝という成績を残すことができました。多くのご支援、ご声援ありがとうございました。石川県に戻っている方とお会いし祝福のお言葉をいただく中で、星稜高校サッカー部の闘いぶりによって、皆さんに少しは感動をお届けすることができ

今年のチームは個人個人を見ると傑出した選手がいたというわけではありませんでした。準優勝という結果を考えた時に、やはりチームの結束の強さに大きな理由があると思います。スタッフ、選手全員が勝つための戦略を考え抜き、気持ちを一つにして練習に取り組むことができたことは大きかったですね。
 特にキャプテンを務めた寺村介選手は常にチームの雰囲気を考えて動いてくれました。何か上手くない事があればミーティング

※生徒の学年は平成25年度のもです。

で問題提起し、皆で解決するチーム作りをしていました。彼は2年生で全国大会準決勝の舞台を経験していますが、この経験を彼の言葉で話すことで「全国優勝は手の届かない目標ではない」ことをチームメートにしっかりと伝えてくれました。高校時代、同級生から語りかけられる言葉ほど心を動かされるものはないですからね。

勝つだけでなく、 人として成長できるサッカーを。

私が指導で大切にしているのは勝つことだけをめざすのではなく、スポーツを通じて生徒たちが人間として成長していくこと。そのためにも「二人の成功を全員で喜び合い、一人の失敗をみんなで反省し補い合うこと」をチームの方針にしています。出場選手がメンバーではない生徒を気遣う、そんな人としての思いやりを何より身につけてほしいと願っています。



もう一つは数多くのチャレンジをさせ、成功や失敗の中から学ばせること。私は練習試合を多くセッティングしますが、これは「何が良くて何が駄目だったのか」を生徒自身で気づかせることが目的です。この気づきのサイクルを速めることで成長のスピードも速まっていくと考えます。

今回の選手権では選手自身が悔しい思いを少なからずしたと思います。でも、一番大切なのは、この経験をどう次に生かすかです。負けたことでこそ成長できることがあるし、勝ったことで見失うものもあるでしょう。次の3年生には先輩が残した結果に奢らず、基本に立ち返って一から取り組んでほしいですね。

私が思う星稜サッカー部の良さは、一学年40名という人数の中で厳しい競争が生まれることです。これは選手にとってはいいやな部分でもあるでしょうね。しかし、ライバルとして日々切磋琢磨することでチームはレベルアップしていきます。一方で彼らは普段の学校生活ではとても仲良くやってくれているので有り難いですね。特に寮生活の生徒たちは生活も一緒に互いの嫌な所も見える反面、絆も強くなる。こうしたサッカー以外の「社会」で、彼ら自身が悩み解決していくことで、人としての本当の強さを育てていくてくれたらうれしく思います。

星稜サッカー部には本当に多くの方が関わり、チームを支えてくださっています。スパイク一つにしても高価なものが親御さんが買ってくれるから生徒たちはサッカーができます。彼らには日頃から「周りの人への感謝の心を大切にしろ」と言っています。が、メディアのインタビューなどで生徒の口から「感謝」という言葉が出てくるのを聞くと、指導してきて良かったなと思います。そして、彼らには素直な心も大切にしてほしい。素直

な子は技術も成長のスピードも一番早いですが、勝つことだけでなく人として成長するためのサッカーをこれからも生徒たちに伝えていけたらと思っています。

支えてくれた

すべての人に感謝したい。

寺村 介前主将



ケイが用意されていて「これが優勝だったかもしれないんだね」とみんなで笑いながら話したのを覚えています。今は悔しさをバネに次に向けて頑張りたい気持ちでいっぱいです。決勝戦まで勝ち上がった今年のチームの強さの一つに、3年生全員の結束力があつたと思います。普段の学校生活でも本当に仲が良かったし、ピッチ上でもお互いにいい面、悪い面を本音で言い合うことができる最高の関係でした。個人個人の力を見れば全国のチームの中でもそんなに強くなかったけれど、チームとしてのまとまりがあつたからこそここまで来ることができたと自負しています。

僕がキャプテンを務める上で心がけていたのは周りの誰よりも人一倍努力すること。周りに叱咤するばかりで行動しないリーダーには絶対なりたくなかったです。実は「どうしたら周りのチームメートに思いを聞いてもらえるんだろう」と悩んだ時期もありました。

準優勝の悔しさをバネに、 もっと強くなる。

選手権が終わって2ヶ月以上経ちました。今も日本一が獲れなかったことに対しては正直言って悔しい思いがあります。僕がもっと強かったら、たくさん練習していたら優勝できたのかなと。今はもっともっととサッカーが上手くなりたい、成長したいという気持ちが強いです。そういう意味では一生忘れることのできない試合になったと思います。

決勝の試合直後はチームメートともほとんど話しませんでした。宿舎に帰ると準優勝の



その時に「まずは人の話を聞け。そして自分から行動しろ。そうすれば人は話を聞いてくれる」と言ってくれた人がいました。僕がまず変わることでみんなが変わってくれた。3年生一人ひとりが自ら考えて「こうしたらいいんじゃないか」と行動するようになってくれたんです。その時は嬉しかったですね。

応援席にいる3年生を見て、泣いてしまいました。

僕が一番感謝しているのはスタンドにいた3年生です。出場できなくてみんな悔しい思いをしているはずなのに試合では一生懸命応援してくれて、決勝でも自分のことのように泣いてくれました。僕は「負けても絶対泣かないでおこう」と決めていたんですけど、それを見た瞬間に自然と涙が出てきてしまいました。全員で闘っていたと感じましたし、この3年間星稜のサッカー部で頑張ってきたことに良かったと思います。今はそれぞれが気持ちを切り替えて次のスタートを切っています。卒業後も大学や社会人チームでサッカーを続ける人がほとんどなので離れてもライバルとしてお互いを励まし、支え合える存在でいたいです。

星稜で過ごした3年間は僕の人生の中で本当に貴重な時間で、僕自身を大きく成長させてくれたと思います。河崎監督にはサッカーの技術だけでなく挨拶や礼儀についても厳しく指導していただきました。たとえば「道端にゴミが落ちていたら拾う」など、人としてどうあるべきかを教えていただきました。仲間やスタッフの方など関わってくださった人すべてが僕にとってはかけがえのない人たちで、感謝の気持ちでいっぱい입니다。

大学での目標は、まずは高校で成し遂げられなかった全国制覇を果たすこと。卒業後はプロになって、サッカー部の先輩である本田圭佑選手のように海外のプレミアリーグで活躍したいです。実現するためには人の10倍努力しなければいけないと思っています。日本や海外にはすごい選手が他にもたくさんいるし、今の自分だと全然力が足りない。負けず嫌いが自分の一番の武器なので「誰にも負けたくない」という思いで努力したいです。それに海外で活躍している選手は技術だけではなく「プラスα」の何かを持っています。大学の4年間は、それが何なのかを見つける期間だと思っています。星稜サッカー部での3年間を糧に、もともとと強くなることを皆さんに約束します。

インターハイと選手権優勝。 来年こそは2冠達成を。

鈴木大誠 新主将



今回の選手権では準優勝という悔しい結果でしたが、僕自身とても良い経験ができた

思っています。3回戦後に体調を崩してしまい、準々決勝、準決勝とスタメンから外れてしまったことが心残りですが、インターハイで全国大会に出場した時よりも緊張せずに自分の力を出し切ることができたのでその部分では満足しています。

選手権には僕たち2年生と1年生合わせて10名がメンバーに入っていて、日頃からそのメンバーだけで自主的にミーティングをして気持ちを高めていました。決勝で負けた夜も集まって「悔しいけれど気持ちを切り替えよう。来年は必ず優勝をしよう」と誓い合いました。僕たちはまだ最後じゃない。次のためにすぐスタートを切らなければいけません。

今年を振り返ると、寺村さんを中心に団結力の優れたいいチームだったと思います。印象に残っているのが

2回戦、3回戦と勝つたびにみんな喜ぶのですが、寺村さんだけは浮かずに「喜ぶのは早い、次を見ろ」と

チームの気持ちを引き締めていたこと。彼は皆を引っ張る力が強くて、次期キャプテンとして僕が一番見習いたい部分でもあります。

自分たちの学年は個人の能力が高い選手が多い反面、チームとしてのまとまりがまだまだ弱いと感じています。卒業した先輩たちのように結束力を高め、個人の能力を補い合っていくことが強いチームになる秘訣だと思っています。そのためにも週一回ミーティングを開き、目標を話し合っって気持ちを一つにしています。

今年の目標はインターハイと高校選手権の2冠。勝つ為には一日一日の練習の質を高めていくことが何より重要です。厳しい練習を重ねることで試合でも気持ちに余裕を持って



プレイすることができると思います。泣いても笑っても最後の年なので、サッカーの事で頭がいっぱいになるくらいにサッカーに明け暮れて毎日を過ごしたいです。そして今度こそ高校選手権に全試合出場して、優勝旗を持ち帰りたいと思っています。





特集2

日本海イノベーション会議 金沢星稜大学プログラム
講演会「グローバル化と大学教育」開催

世界で通用するグローバルな人材を 金沢星稜大学が生み出すために

1月25日(土)、北國新聞が県内の大学等と共同で主催する「日本海イノベーション会議」の金沢星稜大学プログラムとして、「グローバル化と大学教育」と題した講演会が開催されました。宮崎正史学長、坂野光俊前学長、北國銀行専務前田純一氏がそれぞれ講演し、世界で通用する「グローバル人材」の育成に、大学がいかに役立てるかについて語りました。



講演 1

地域社会における 大学の役割とは

宮崎 正史 金沢星稜大学学長（当時副学長）

学生たちの力を伸ばせる、魅力ある大学に

地域社会における大学には、二つの役割があります。一つは「大学が存在すること」で、人材輩出や経済効果などを通して社会に貢献できます。もう一つは、「魅力ある学びの場」の提供です。魅力ある学びとは、学生たちの力を伸ばすこと。当大学では、「社会貢献」と「グローバル化」に対応できる力を身につけさせたいと考えています。これらの力を養える大学にするためには、イノベティブ（革新的）な取り組みが必要で、なおかつ不断でなくてはなりません。

本学では2004年から教育改革を開始しました。最初の改革方針策定で特にこだわったのは、学生が大学の主役であることです。研究より教育に重きを置きました。一例を挙げると、学びの支援として基礎学力強化と社会人基礎養成を同じクラスで毎週実施する「Wゼミナール」をスタート。さらにフレンドリーな事務局となるべく大学のニュース等を記した「星稜TODAY」を発行、毎朝学生に手渡しするなどの取り組みを進めました。キャリア・就職支援の面でも、学生の意欲を引き出すために公務員・税理士教員を目指す「CDP（キャリア・ディベロップメント・プログラム）」

「星稜TODAY」や、スムーズに資格取得ができる「星稜エクステンションセンター」を新設しました。これらの取り組みが実を結び、就職率が向上。全国平均を大きく上回り、受験者数も急増したのです。

しかし現状に満足してはいられません。現在、石川の大学の偏差値（人文・社会系に限る）は国公立が59、私立は43.7で、偏差値50前後の中間層の多くは県外に進学する傾向にあります。そんな受験生たちにも魅力を感じてもらえるような場の提供こそ、私大の使命だと感じています。学生たちに「グローバルな視野」「高いコミュニケーション能力」「粘り強く問題解決ができる力」を身につけてもらえるよう、今後もさらなるイノベーションに取り組んでまいります。



講演 2

県内企業の海外進出と人材育成

前田 純一 北國銀行 代表取締役専務

大学カリキュラムでグローバル人材の育成を

現在わが国の海外現地法人数はここ数年で急増しています。当行の取引先でも、中国を筆頭に東南アジアへの進出が増加傾向にあります。しかし海外進出に興味があっても、「国際化を展開する人材がいない」という理由で断念するケースも少なくありません。これを大学が、人材育成という面からサポートしていただきたいと考えています。

経団連の調査によると、グローバル人材に求められる素質・知識能力は、2位に「外国語によるコミュニケーション能力」、3位に「海外との文化・価値観の差に興味・関心を持ち柔軟に対応する」が挙げられ、これは大学の教育で磨けることだと感じています。こういった面を重視したカリキュラムが今、求められているのです。

当行でも取引先の海外進出をサポートするために、海外に駐在員事務所を設置するほか、平成26年度、行員100名による海外視察研修を計画しています。これらを通してグローバル人材の育成を図っていますが、一企業の努力にはどうしても限界があります。

企業が大学教育へ期待するものの1位は、「専門科目を外国語で履修するカリキュラムの構築」です。外国語を基礎言語として勉強できるような人材でないと、海外では通用しないと企業は考えています。このほかにも、「日本文化、歴史を学び、海外から日本がどう見られているかを考えるカリキュラム」のニーズもあります。海外に出るときは自国の文化を深く知っておかないと、軽蔑されることさえあります。金沢星稜大学では、これらの要望に応えるような、グローバルに活躍できる人材を育成できるカリキュラムを整備していただきたい、それが私たちが企業の立場からお願いです。



講演 3

”大学イノベーション”と新学部構想

坂野 光俊 金沢星稜大学前学長（当時学長）

英語を鍛えられる新学部を2016年に設立

2016年、本学は新学部を設置する予定です。真にグローバルな人材を育成するのが狙いで、これまで地元大学にはなかった内容にこだわります。名称は「人文学部国際教養学科」、または「国際文化学部国際文化学科」の予定で、英語学、比較文化論、国際観光論の3コースを計画中です。

カリキュラムの最大の特徴は、「英語能力の向上」です。例えばTOEFL iBTで80点（満点120点）程度獲得しないと卒業できない、海外留学を全員に義務づけるなど、徹底的に英語能力を高めます。なお海外大学の受講には追加学費は発生させず、本学納入の学費のみで対応。さらに卒業に必要な124単位のうち4分の1強は、留学先で取得してもらいます。

もちろん学部の教育環境も充実させます。専任教員の半数は英語ネイティブの外国人教員とし、学生は一般で6割、特待生で8割以上の講義が、英語での受講となります。さらに留学生も一緒に住める学生寮をつくり、国際交流しやすい場とします。

新学部では卒業後の進路も気になるところですが、私は就職に関しては樂觀視しています。当大学の卒業生はすでに企業からも高い評価を受け、平均を大



きく上回る就職率を誇っています。この能力に英語力が加わったのが、新学部の卒業生です。就職活動においても、その力が高く評価されることでしょう。

地方活性化には、地方大学の努力が欠かせません。多くの社会人の最終学歴が大卒となる現在でも、高等教育機関は東京をはじめとした都会に集中しています。しかし地域に必要とされる人材は、その地域で育成すべきではないでしょうか。その意図からも、大学イノベーションは欠かせず、新学部の設置が必要と考えています。

石川の高校生の県内進学率は決して高くはありませんが、上昇傾向にあります。今回立ち上げる新学部は、地元大学で学びたい高校生らのニーズに応えられると自負しています。今後も大学イノベーションに取り組み、地域の皆様に貢献できるよう励んでまいります。



講演に続いては、講演者3名による鼎談も行われ、「北陸新幹線開業後の人材の県外流出をくい止めるためには魅力ある学びが必要」（宮崎学長）、「企業は発展途上国も含むアジアに行き、厳しい環境でもビジネスをやり遂げられる人材を求めている」（前田専務）、「本大学で4割を占める女子学生はガッツのある人が増えており、そうした人材を男女問わずに新学部でも育成したい」（坂野前学長）などの意見が寄せられました。



金沢星稜大学附属 星稜泉野幼稚園
若原あづさ 教諭

子どもの「やりたい気持ち」と
挑戦する過程を大切にしたい

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園に勤めて今年で18年目です。現在は、主に年少クラスの園児たちと関わっています。子どもたちにとって、幼稚園は生まれて初めて触れる社会。多くの子どもたちは緊張や不安を抱えてやってきます。だから私は、「幼稚園でのお母さん」であることを心がけています。幼稚園にすれば、お母さんみたいな先生が待っている。そんな安心を子どもたちに感じてほしいですね。

星稜泉野幼稚園の良いところは、子どもたち自身の「やりたい気持ち」を実現させようとする姿勢だと思います。それまでお母さんとの濃密な関係の中で育てられてきた子どもたちが、初めての社会で自ら何かをしてみたいと考え、実際に挑戦してみても、成功したり失敗したりする。その経験

は人として成長していく基盤になります。保育者は、それをサポートする立場として、「できた」「できなかった」という結果だけを求めるのではなく、チャレンジする過程を見守ることが大切だと思っています。子どもたちは持っている個性も育ってきた環境もひとりひとり違い、私たち保育者がいつ、どうやって手をさしのべ

「子どもの育つ環境を育む」。 そんな先生でありたい。

るのがよいのかも一概には言えません。その子をしつかりと見て、最適なタイミングと方法で導くことが重要であり、同時に難しいところだと思います。



すべて助けるのではなく、時には手を出さずに見守ることが大切

子どもと一緒に笑い、
悲しむ先生でいること

常に子どもと同じ気持ちを共有することも、私が心がけていることのひとつです。まだ学生の時、教育実習で読み聞かせをしても子どもたちが楽しんでいるように思えたことがありました。ご指導いただいた先生に相談すると、「あなた自身が楽しんでいるかどうかが大切」だと教えられ、「先生なんだからがんばらなくちゃ」と意気込み過ぎていたことが逆効果になっていたと知りました。それ以来ずっと、子どもと一緒に笑い、一緒に悩んだり、考えたりできる先生でいたいと思っています。子どもは、大人と一緒に楽しんでいるかどうかをちゃんと見ています。

それは、家庭でも同じではないでしょうか。子どもたちの話す日々の出来事や思いを十分に聞いてもらっている子は、とても素直に自分の気持ちを表現できるようになります。嬉しいことも悲しいこともそのまま受け止めてくれる大人がいるということは、子どもたちにとって、とても重要なことなのです。ぜひ、ご家庭でも日常のちよつとしたお子様の言葉に耳を傾けてみませんか。

以前は、目の前の子どもと向きあうのが保育者だと思っていました。今は、私たち自身や保護者の方々も含め、子どもが育つ環境を育むのが幼稚園教諭なのだと考えています。大人たちが一緒にあって子どもを見守り、成長へと導く場所。これからもそんな星稜泉野幼稚園であり続けたいと思っています。





※取材の都合により、学生・生徒・園児の学年は平成25年度のもを掲載しています。

★ 短大 ジャンプチャレンジ 活動企画 成果報告会

2月24日(月)、「2013年度ジャンプチャレンジ活動企画 成果報告会」が開催されました。SJP(※)として活動している16チーム、400名を超える学生が参加し「自分を超える力をつける。」活動に取り組んだ成果を報告しました。来年度も継続する団体のさらなる活躍が期待されます。

※SJPとはSEIRYO JUMP PROJECTの略で「自分を超える力をつける」を合言葉に、積極性や主体性を養う、学生によるさまざまな自主活動のことです。



★ 留学生交流 ボウリング大会開催

1月24日(金)、毎年恒例の留学生交流ボウリング大会が開催されました。過去最大60名の留学生・日本人学生・教職員の参加があり、チーム対抗・個人対抗で、学生間の交流も深めながら、ボウリングを楽しみました。



★ 短大 「秋のスイーツ料理教室」で女子力アップ!

11月29日(金)、「秋のスイーツ料理教室」がABC Cooking Studioの協力のもと行われ、学生20名が参加しました。女子力アップを目指して参加した学生たちが挑戦したのは、ガトー・マリアーージュ。キレイなメレンゲの泡立て方や、うまく焼ける生地、混ぜ方など、普段の生活にも役立つ料理のコツをたくさん教えていただきました。



★ 短大 想いを込めた贈り物を「クリスマスラッピング」

12月13日(金)、短期大学部学生ホールにおいて雑貨ショップ「Amining」の協力のもと、ラッピング教室を開催しました。学生がそれぞれ、包むものを持参し、贈る人のことを想いながら、相手がもらって嬉しくなるラッピング技法を学びました。また教室終了後は、ミニクリスマスパーティーを行い、ケーキやチョコフォンデュなどを作って、一足早いクリスマスを楽しみました。



★ 短大 「ウィンタースポーツイベント開催」スノーボード実習

1月4日(土)・5日(日)、長野県梅池高原スキー場で1泊2日のスノーボード実習を行いました。参加人数は、過去最高の24名!ほとんどが初心者だったため、1日目はスクールに入りレッスンを受けた。板を履いて、スタンスの確認や滑走時の重心のかけ方、ターンの練習を行い、何度も転びながら体で覚えました。2日目は筋肉痛に耐えながらも、晴天の中、キラキラと輝くパウダースノーの上で、それぞれ自由滑走を楽しみました。



★ 1年間の集大成
「マナーコンテスト」

2月14日(金)、Sei-Tan Act! Final「マナーコンテスト」が開催されました。今年で4回目を数えるこのコンテストは、授業で学んだことを活かして楽しみながら、電話対応や応接室への案内や取次ぎなど、社会人になった時に日常で想定される業務を、ロールプレイング方式で体験するものです。約30名の学生が参加し、新入社員に扮した学生たちに、上司や接客役の教職員がちよつと困ったお願いを名演技で迫りました。頭では理解していても実際にやってみると、結構難しいビジネスマナー。これから就活が本格化する1年次には、いい経験になりました。



★ テーブルマナーを
学びました!

1月17日(金)、短期大学部1年次全員を対象に「エレガンスアップ」(担当:山川広美講師)の授業でテーブルマナー実習を行いました。金沢市内のホテルで、実際にコース料理をいただきながらホテルスタッフから指導を受けました。前菜・スープ・パン・メイン・コーヒー・デザートといったフランス料理を堪能した学生たち。少しおしゃべりをして、女性らしさをプラスした優雅なランチタイムとなりました。



★ 楽しかった修学旅行

1年生Pコースが12月2日(月)～6日(金)、1年生AコースとBコースが12月3日(火)～6日(金)に修学旅行へ行きました。この修学旅行は、集団行動を通じて公民的資質を養い、授業を通じて得た知識を実地において理解し、さらに見聞を広めることを目的としています。各コースの主な行き先は、次のとおりです。

Aコース 東京

1日目は最高裁判所と国会議事堂、浅草寺・仲見世を周り、東京ソラマチ散策後にスカイツリーからの夜景を楽しみました。2日目は東京証券取引所と東京大学を見学し、3日目は東京ディズニーシーと河口湖、4日目は水穴を見学した後、富士山5合目散策と箱根へ行きました。



Bコース 北九州

偶数クラスと奇数クラスに分かれ、偶数クラスの1日目は大宰府天満宮とハウステンボス、2日目はクラス別で味の素などの企業見学と旧炭鉱や軍艦島などの小旅行、3日目は被爆体験者講話の後に平和公園と原爆資料



館、長崎市内の班別自主プラン、4日は福岡市内をクラス別に分かれて見学しました。奇数クラスはその逆の行程を周りました。

Pコース 沖縄(滋賀・大阪経由)

1日目は滋賀県の立命館大学スポーツ健康科学部と大阪の天保山に行き、2日目は沖縄に移動し美ら海水族館を訪れ、3日目はマリンスポーツとアメリカンビレッジ、4日目は平和学習として嘉手納基地と普天間基地および平和祈念資料館を見学し、翌日帰路に着きました。



★ 快挙！ 5年連続V！

2013(平成25)年度石川県高等学校総合体育大会総合成績において、本校が総合、男子、女子の全部門で5年連続最優秀校に輝く偉業を達成しました。総合優勝は38回目、3冠は13回目です。生徒一人一人の努力が実り、栄冠を掴みました。また、本校の次の個人・団体が表彰されました。

《功労者》

指導者 河崎護先生(サッカー部顧問)
西川明大先生(トランポリン部顧問)

《優秀選手個人》

トランポリン部
谷口遼平さん(3年)、安藤 諒さん(1年)
市川隆太さん(1年)、平野里歩さん(2年)
中野蘭菜さん(1年)、大門音々さん(1年)
村上 碧さん(3年)

《優秀団体》

男子サッカー部
男子トランポリン部
女子トランポリン部

★ 全国大会出場が続く！

男女スキー部が3月14日(金)～16日(日)に北海道富良野スキー場で開催された第26回全国高等学校選抜スキー大会に出場し、全国の強豪に挑み大健闘しました。出場したメンバーは森田昂也さん(2年)、森本早香さん(2年)です。森田昂也さんは、スキー・アルペンの大回転で4位に入賞し、輝かしい成績を残しました。

また、合唱部が3月20日(木)～23日(日)に福島市音楽堂で行われた第



7回全日本アンサンブルコンテスト全国大会2014に出場し、青く澄みわたる「ふくしまの空」に、心のハーモニーを響かせました。

さらに、3月21日(金・祝)～23日(日)に金沢市ジャンボホールで開催された第17回高等学校ボウリング選手権大会石川大会に、ボウリング部の天野喜恵さん(1年)が出場し、全国の精鋭の一人としてベストを尽くしました。

他にも、高校スポーツの春の日本一を争う2013(平成25)年度全国高等学校選抜大会に、男子剣道部、女子テニス部、レスリング部、男子体操部が出場。全国高等学校ゴルフ選手権春季大会に中嶋晃哉さん(2年)が出場し、冬場に鍛え上げた力と技で競いました。



★ 優秀選手表彰！

1月16日(木)、野球部主将の北村拓己さん(3年)が、日本学生野球協会より、平成25年度日本学生野球協会優秀選手として本校校長室にて表彰されました。毎日積み重ねた汗のじむ努力が高校野球発展に尽力したと認められ、多くの報道陣に取り囲まれました。今後の更なる活躍を大いに期待します。



★ 2年生Pコース スノーボード実習

2月12日(水)～14日(金)、2年生Pコースのスノーボード実習が長野県の桐池高原で行われました。インストラクターの指導のもと、日頃運動に慣れている生徒たちは、すぐにスノーボードのコツを掴み、思い思いに滑走していました。壮大なパノラマを望みながら白銀の世界と戯れ、あっという間に3日間が過ぎました。



★ 高 進路講演会

2月15日(土)、1年生P・Bコースの生徒を対象に、ベネッセ・コーポレーション北陸支社の木村英司氏を講師としてお招きし、「『行き先』ではなく、『行き方』を決める選択スキミは、何のために勉強するのか?」と題して、稲置記念館で講演会が行われました。大学入試の現状と仕組みや、2年生に進学するにあたっての、学習に関する意識改革などの話を伺いました。1年生で学んだことを振り返り、改善点を明確にし、次年度へ向けて意識を整えました。



★ 中 意外なところに危険が...!!

12月16日(土)、全校生徒を対象に、石川県司法書士の前田航氏を講師としてお招きし、「中学生に身近な法律問題」と題して、稲置記念館で講演



★ 中 スキー教室

2月13日(木)、一里野温泉スキー場で、毎年恒例のスキー教室が行われました。水墨画のような幽玄なゲレンデの中、インストラクターの指示に従い、スキーの基本的な動作を身につけました。慣れないスキー板とストックに悪戦苦闘しながらも、帰る頃には自分の思いどおりに滑ることができました。



★ 中 スポーツ優秀表彰!

野球部の選手20名とサッカー部の選手18名が、平成25年度金沢市スポーツ優秀選手として選ばれ、2月27日(木)、金沢市体育協会による表彰式が金沢歌劇座で行われました。日頃の部活動における努力が認められた選手たちは、次の目標に向かって頑張ることを誓いました。一人一人の胸に、栄光と誇りのメダルが輝きました。



★ 大 中 高 12月からの主な部活動成績

星稜

第50回全日本トランポリン競技選手権大会

・男子団体総合

・優勝 堺 亮介、谷口 遼平

・藤原 壮輝、永田 信弥

・女子団体総合

・第3位 中野 蘭菜、平野 里歩

・角田 瑞希、村上 碧

・男子シンクロナイズド競技

・第6位 谷口 遼平、永田 信弥

・女子シンクロナイズド競技

・準優勝 中野 蘭菜、平野 里歩

星稜高等学校

第92回全国高等学校サッカー選手権大会

・準優勝

第26回全国高等学校選抜スキー大会

・男子GS競技

・第4位 森田 昂也

平成25年度北信越高等学校体育大会

第23回北信越高等学校剣道新人大会

・男子団体・優勝

・女子団体・第3位

第76回石川県耐寒継走選手権大会

・第2部高校A組

・優勝 吉野 駆流、越島 裕暉

・西 晃宏、川崎 鉄太

・第3部女子A組

・優勝 五島 莉乃、高野みちる

・岡田 奈巳、濱田 優理

・第2部高校A組

・1区区間賞 吉野 駆流

・第3部女子A組

・1区区間賞 五島 莉乃

・2区区間賞 高野みちる

・3区区間賞 岡田 奈巳

・4区区間賞 濱田 優理

第50回石川県高等学校スキー選手権大会

・男子総合・準優勝

・女子総合・第3位

平成25年度石川県高等学校

テニスダブルス選手権大会

・優勝 今井 未来、片口 夢

・第2位 大町 法重、齊藤 優希

第22回松本旗争奪石川県高等学校剣

道選抜大会

・男子団体・優勝

・女子団体・第3位

平成25年度石川県高等学校新人体育大会

□スキー競技

・男子アルペン総合・優勝

・女子アルペン総合・第3位

平成25年度石川県高等学校総合体育大会

・総合最優秀校

・男子最優秀校

・女子最優秀校

第18回北陸ジュニア棋王戦

・高校生部

・準優勝 松井 綾汰

第26回石川県高等学校

ヴォーカルアンサンブルコンテスト

・金賞 二宮 由佳、奥村 夏美

・中川 七海、杉澤 実央

・長崎 里奈、東 愛純

・山本 唯、瀧澤真樹子

・吉田 夏菜、酒谷寿々乃

・山崎 知佳、野澤 佑太

・出口 敬紘、米澤 聡

第三十九回石川県書き初めコンクール

・入選

・鈴木夏和美

・東 奈央子

・神田 美咲

星稜中学校

第44回金沢市中学生耐寒剣道錬成大会

・女子1年生部

・優勝 中 生吹



☆節分に鬼がやってきた。☆

2月3日(月)の節分に、赤鬼と青鬼がやってきました。部屋に入ってきた鬼にびっくりした子どもたちは、夢中で豆をまきました。年少児たちは、先生の後ろに隠れたり泣いたり。でも負けずに「おにはくそーふくはーうちー」と鬼を追い払いました。鬼からの挑戦状を受け取り、フレイームで対決をしました。こま回し、なわとび、フラフープの対決は、子どもたちが勝ち、負けた鬼たちは、本当はみんなと仲良しになったかったようですね。



☆初めてのとらひリンド。☆

年中組が初めて、とらいランドに挑戦しました。フレイームを走り、マットの上でうさぎになってジャンプをしたり、ライオンになって四

つん這いで歩いたり、さらに前回りをしたりと元気いっぱい身体を動かしました。なんだか年長組さんになった気分のみんなでした。



☆ドッジボールを楽しんでいます。☆

年長組は、3学期に入ってから、ドッジボールに夢中です。勝ったり、負けたりしながら、日に日に上手くなっています。お友だちと一緒にするドッジボールは楽しいね。



☆金沢21世紀美術館へ見学に行ったよ! ☆

金沢21世紀美術館では、小中学校の作品展が行われていました。思わず食べたくなるようなお弁当の作品もあり「おいしそう! 食べたーい!」という声が聞こえてきました。「スイミングプール」では、プールサイドから中をのぞくと、なんと人がいっぱい。水の中はどうなっているのかな? 階段を下りてプールの中へ…。上を見上げてプールサイドから手を振っている人に、笑顔で手を振り返っていましたよ。とっても不思議な体験をしました。



☆雪あそびをしたよ! ☆

雪が大好きな子どもたち。「やったあー! 今日雪あそびできるー!」雪に触って「つめたーい。ふわふわ。」と、にこにこ顔。雪を丸めたり、ころがしたり、雪だるま作りにも挑戦。「もっともっと雪が降らないかなー」と空を見上げている子どもたちです。



☆紙コップがへーんしん! ☆

星稜泉野幼稚園元園長の大宮弘一先生と隣の小学1年〜3年生、それに年中組さんが一緒に楽しい一時を過ごしました。紙コップやひも、折り紙などを使ってカラーペンで顔を描いて、思い思いに作品を制作。みんなの前で嬉しそうにネーミングを紹介している姿はにこにこ顔でしたよ。



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



北國銀行 内灘大学通り支店 支店長
山村 好夫 (星稜高校第24期卒)

「率先垂範」を心がけて
目配り・気配り・思いやりのある
支店を目指しています。

昭和63年星稜高校を卒業後、北國銀行に入行し25年目を迎えました。入行当時は3年後の石川国体に向けて当行野球部に所属、仕事と野球に明け暮れる毎日だったことを憶えております。星稜高校時代の3年間、夢の舞台甲子園を目指していましたが残念ながら1回も出場することができませんでした。しかし今思うと、負けて学んだことがたくさんありそれがこれまでの銀行員生活にも活かされているように思います。仕事において、先輩・

同僚・後輩に「負けてたまるか」との思いを常に持って何事にも取り組むことができたような気がします。

現在、内灘大学通り支店に勤務しておりますが、当店は内灘町の役場近くに位置し個人のお客様を中心に年々来店客が増加している店舗です。その中で私は支店長として地域の皆様に最善の金融サービスを提供できるように日々行動しております。

私のモットーは「率先垂範」目配り・気配り・思いやりを持って行動すると掲げております。

人の嫌がるような仕事、自分が他人にやってほしいと思うこと、それらに真っ先に取り組む。率先して自ら行動で示すことで人の心を捉えることができると思います。当店全員が率先垂範、目配り・気配り・思いやりを持って行動することにより、今後の厳しい金融業界の環境下においても、お客様から選ばれる銀行(支店)となれるように日々努めています。学生の皆さんも、先生や友人・先輩これから出会うすべての方々の心を捉えられるよう自らを高めること、また、何事にも「負けてたまるか」という強い気持ちを持った人となるように取り組んでいただけたらと思います。



北國銀行



平成26年4月30日(水)まで

来店不要

土・日も営業

最短30分でご回答

お申込みからご契約まで来店不要でお手続き可能!!

※ご回答に要する時間はお客さまの申込内容により変わります。最短30分は目安です。※お申込みの時間帯により、ご回答が翌日以降となる場合があります。※審査結果は原則電話にて伝えさせていただきます。くわしくは窓口まで

金沢星稜大学CDP受講者 2013年度 最終合格状況

■公務員コース

行政職	最終合格者数	内定者数
金沢市役所	2名	2名
珠洲市役所	1名	1名
高岡市役所	2名	2名
立山町役場	1名	1名
国家一般職	7名	3名
裁判所事務官一般職	1名	1名
国税専門官	5名	—
国立大学法人等職員	1名	1名
計	20名	11名

公安職	最終合格者数	内定者数
石川県警(男性)	8名	7名
石川県警(女性)	1名	—
富山県警(男性)	1名	1名
富山県警(女性)	1名	1名
福井県警(男性)	2名	—
皇宮護衛官	1名	—
警視庁警察官(男性)	4名	—
新潟県警(男性)	2名	—
愛知県警(女性)	1名	—
金沢市消防	1名	1名
嶺北広域消防組合	1名	1名
若狭広域消防組合	1名	1名
内灘市消防	1名(1名)	1名(1名)
東京消防庁I類	1名	—
海上保安学校生	1名	1名
自衛隊一般幹部候補生	2名	—
自衛隊一般曹候補生	2名	1名
刑務官A(中部矯正管区)	1名	—
計	32名(1名)	15名(1名)

■税理士コース

税理士試験科目	合格者数
簿記論	1名
財務諸表論	1名
計	2名

■教員コース

教員採用候補者選考試験	最終合格者数	内定者数
石川県公立小学校教員	8名(1名)	8名(1名)
千葉県公立小学校教員	6名	2名
大阪府公立小学校教員	1名	1名
神奈川県公立小学校教員	1名	—
新潟県公立小学校教員	1名	—
石川県公立中学高等学校保健体育科教員	3名(2名)	3名(2名)
石川県高等学校商業科教員	1名(1名)	1名(1名)
計	21名(4名)	15名(4名)

最終合格者数は、のべ人数、()は内数で卒業生

卒業生から絵画を寄贈いただきました

春陽会会員の洋画家 田村勉氏(実践商業高等学校OB:現星稜高等学校)から本学園に、絵画を寄贈いただきました。霊峰白山を題材に、自然の美しさが描かれています。絵画は、金沢星稜大学キャリアデザイン館1階に設置いたしました。本学園にお越しの際は是非ご覧ください。



星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読頂き、誠にありがとうございます。

毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、

本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、先着100名様に図書カード(1,000円分)をプレゼントいたします。

右記ウェブサイトから、アンケートへの回答をお願いいたします。

先着100名様に
図書カードをプレゼント!

<http://www.seiryu.jp/>

行事スケジュール (4月～6月)

金沢星稜大学

4	2日(水)	入学式
	3日(木)・4日(金)	新入生ガイダンス
	6日(日)・7日(月)	山中研修(新入生)
	8日(火)	前期授業開始
	30日(水)～5月2日(金)	ゴールデンウィーク休講
6	14日(土)・28日(土)	一斉補講日

金沢星稜大学女子短期大学部

4	2日(水)	入学式
	3日(木)・4日(金)	新入生オリエンテーション
	7日(月)	交流イベント
	8日(火)	前期授業開始
	30日(水)～5月2日(金)	ゴールデンウィーク休講
6	14日(土)・28日(土)	一斉補講日
	14日(土)	サービス接遇検定
	21日(土)	秘書検定

星稜高等学校

4	7日(月)	始業式、自転車安全教室
	8日(火)	入学式
	9日(水)	高1研修会、自転車安全教室
	15日(火)～18日(金)	内科検診
	19日(土)	身体計測
5	28日(月)	遠足
	12日(月)～15日(木)	中間試験
	15日(木)	総体・総文激励会
	17日(土)	PTA総会、保護者対象講演会 高3学級懇談会、1年Aコース懇談会
	23日(金)・26日(月)・27日(火)	歯科検診
6	31日(土)	避難訓練
	21日(土)	高1学年懇談会
	30日(月)～7月4日(金)	期末試験

星稜中学校

4	7日(月)	始業式
	8日(火)	入学式
	10日(木)	中1研修会
	11日(金)	交通安全教室、自転車通学説明会
	28日(月)	遠足
5	12日(月)・13日(火)	中間試験
	31日(土)	避難訓練
6	6日(金)・7日(土)	写生大会
	20日(金)	県体激励会
	30日(月)～7月2日(水)	期末試験

あとがき

今年の冬は例年よりも降雪量が少なく、キャンパスから見える針葉樹が雪化粧をする機会も少なかったと感じます。

さて、今号の星稜サ・エ・ラの記事になっていますが、卒業生から絵画の寄贈がありました。絵画は100号の大きさで「白山遠望」というタイトルです。絵画はキャリアデザイン館1階に展示してありますので、学園にいらっしゃった際はぜひ、ご覧ください。

(総務課 宮本翔悟)

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	8日(火)	1学期始業式
	12日(土)	入園式
	24日(木)	誕生会参観
	25日(金)	進級・入園写真撮影
	30日(水)	保護者会総会
5	8日(木)	年長参観日
	9日(金)	年中参観日
	14日(水)	年少参観日
	19日(月)	寺井先生の「なんでも相談室」
	20日(火)	親子バス遠足
6	23日(金)・27日(火)	星稜子育てステーション
	28日(水)	誕生会参観
	29日(木)	避難訓練(地震)
	2日(月)	プール開き
	3日(火)	歯科検診
	4日(水)	内科検診
	11日(水)	プール参観
	13日(金)	誕生会参観
	18日(水)	アスレバール石川2014
	24日(火)・25日(水)	星稜子育てステーション
	30日(月)	寺井先生の「なんでも相談室」

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

4	8日(火)	1学期始業式
	12日(土)	入園式
	23日(水)	進級・入園写真撮影
	24日(木)	誕生会参観
	28日(月)	保護者会総会
5	8日(木)	にこにこ参観・クラス親睦会(つき組)
	9日(金)	にこにこ参観・クラス親睦会(ほし組)
	12日(月)	にこにこ参観・クラス親睦会(ばら組)
	13日(火)	にこにこ参観・クラス親睦会(すみれ組)
	14日(水)	内科検診
	15日(木)	にこにこ参観・クラス親睦会(りす組)
	16日(金)	にこにこ参観・クラス親睦会(うさぎ組)
	19日(月)	親子バス遠足
	21日(水)	避難訓練(地震)
	22日(木)	誕生会参観
6	23日(金)	子育て広場
	26日(月)	親子バス遠足(予備日)
	28日(水)	内科検診
	29日(木)	子育て広場
	31日(土)	個人懇談会
	2日(月)	子ども相談
	4日(水)	歯科検診
	9日(月)	子育て講演会
	10日(火)	子育て広場
	13日(金)	教育実習最終日(星稜大学)
6	16日(月)	教育実習開始(石川県立保育専門学園)
	18日(水)	アスレバール石川2014
	21日(土)	個人懇談会
	25日(水)	子育て広場
	26日(木)	誕生会参観



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1

Tel.076-253-3924(代表)

〈大学〉http://www.seiryo.jp

〈短大〉http://seitai.seiryo.ac.jp/

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206番地

Tel.076-252-2237(代表)

http://www.seiryo-hs.jp

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地

Tel.076-252-2237(代表)

http://www.seiryo-hs.jp

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地

Tel.076-252-5057(代表)

http://kinder.seiryo.jp/seiryo/

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号

Tel.076-244-5636(代表)

http://kinder.seiryo.jp/izumino/